

「一人一人の高い意識で守ろう守山学区」

守山区守山学区

震災避難行動マップ

保存版

この避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、守山学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

町内会の一時集合場所

急な階段注意



両脇斜面に注意



ガラス等落下物に注意



災害救援ベンダー



凡例

- 避難所：家屋の倒壊などにより被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を一時的に滞在させるための施設。
- 一時集合場所
- 地下式給水栓
- 災害応急用井戸
- トイレ
- 下水道直結式仮設トイレ
- 公衆電話
- 防災倉庫
- 避難経路の例

地域の避難先の例

各町内会の一時集合場所へ集合し、下記の避難所へ避難しましょう。

- ・守山一丁目、守山二丁目、守山三丁目 ➡ 守山生涯学習センターへ
- ・それ以外 ➡ 守山小学校、守山中学校、守山会館のいずれかへ

(お願い)

自宅の被害が少ない場合は、なるべく自宅で生活しましょう。高齢者や障がいのある方など、移動に時間がかかったり、一人では逃げられない方は、地域で協力して近くの避難所などへ行けるように申し合わせをしておきましょう。

役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど



このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人々を支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

2. 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

3. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板が貼られています。

気を付けて!!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀・石垣

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

4. 電線

切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない

高圧線・鉄塔に注意



地震発生! 震災時の対応

揺れた

- 身の安全の確保
 - ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
 - ・安全に消せる場合は火を消す
 - ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



安全にすばやい避難行動をとるためにも、**自宅の耐震化や家具の転倒防止対策**は日頃からしっかり進めておきましょう



丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にあるもので頭を守りましょう

揺れがおさまった

- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入口の確保
- テレビ・ラジオやスマートフォンなどからの正しい情報の入手
- 非常持ち出し品の準備



土砂災害からの避難

- 避難所など、安全な場所に避難
- 緊急時は鉄筋コンクリートの建物に避難
- 木造家屋の場合は、がけ斜面からできるだけ遠い部屋へ

◆地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を!

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を続ける”在宅避難”を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。



高齢者や障がいのある方などが取り残されていないか確認しよう!



周囲に自宅避難を知らせよう!



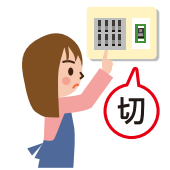
周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう!

在宅避難

避難先へ

避難先へ安全に避難するための6つのポイント

1 ガス・水道の元栓を閉め、ブレーカーを切る!



2 近所への声かけ!



3 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を!



4 原則徒歩で! (渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない)



5 木造住宅密集地やがけ地は避け、川の近くへ行く時は注意を!



6 二次災害に気をつけながら消火・人命救助の手伝いを!



守山区守山学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、最初に**震度6弱**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。**揺れがおさまった後、自宅が被害を受けたかまたは受けるおそれがある場合は適切な避難を行いましょう。**学区内には、築年数の古い戸建住宅が集まっている地域があり、生活道路も決して広くないため、家屋の倒壊や延焼の可能性も踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

一人では逃げるのが難しい方への対応

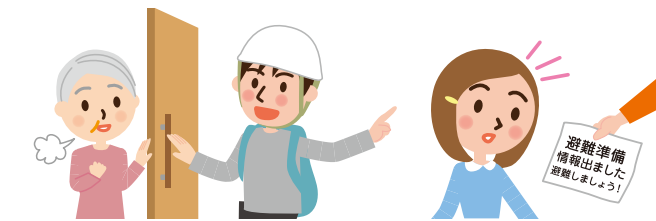
過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人では逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

●例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

●対応方法



優しい言葉でゆっくり声かけ



メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方

●例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

●対応方法



複数で手伝う

身近にあるものを利用する

避難の時の豆知識

非常持ち出し袋を準備しましょう!

日頃から水や食料を準備しておきましょう。めがね・入れ歯・持病の薬も忘れず!



避難する時に持っていくもの

■ 防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手
- マスク

■ 貴重品

- 現金(小銭も必要)
- 預(貯)金通帳の写し
- 健康保険証・免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

■ 照明等

- 懐中電灯(電池含む)
- マッチ・ライター

■ 医療用品

- 三角きん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒薬
- ウェットティッシュ(ティッシュ)
- お薬手帳の写し

■ 食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

■ 便利用品

- 筆記用具
- 新聞紙
- 携帯用トイレ
- ゴミ袋
- キッチン用ラップ
- 使い捨てカイロ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器

■ 衣料品

- 衣料(着替え)
- タオル(大小2種類)

ゴミ袋をカッパに 新聞を体にまいて防寒



ラップをお皿に置いて節水